

ED-005

# 環境経営レポート

2024年度

(2023年12月～2024年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2025年3月1日発行

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社  
代表取締役 佐竹昌史

### (2) 所在地

本社  
東京都立川市一番町 4-65-32  
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター  
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4  
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

### (3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売  
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

### (4) 事業規模

創立 1973年3月30日  
法人設立 1974年11月30日  
資本金 1,200万円  
年商 720百万円  
従業員 20人 (パート・非常勤も含む)

## 2. 対象範囲

### (1) 認証・登録範囲

特殊鋼の素材販売・加工販売、非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

### (2) レポート対象期間

2023年12月～2024年11月

### (3) 活動レポート発行日

2025年3月1日発行

### 3. 環境経営方針

#### 【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

#### 【環境経営方針】

##### 1. SDGsの目標設定

- ゴール5 ジェンダー平等
- ゴール7 エネルギー
- ゴール8 雇用
- ゴール12 持続可能な生産・消費
- ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を順守します。
4. クレーム削減を徹底します。
5. 3Sパトロールの実施と振り返り
6. 新人教育マニュアルの作成及び実施
7. 採用戦略の立案
8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

改定 2019年1月11日

制定 2015年2月2日

佐竹特殊鋼株式会社  
代表取締役

佐竹 昌史

#### 4. 環境経営目標

項目		基準年度実績	2026年度中期目標	2024年度目標	
1	売上高	2020年度 100 %	2020年度比 e 300 %以上	2020年度比 160 %以上	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2020年度発生件数 5 件		発生件数 3 件以下	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2020年度不具合発生 物流センター 5件 加工センター 21件 調達課 0件 外注 0件		不具合発生 物流センター 5件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2020年度 d 115.6 t	f ( 347 t)	( 185 t)
		売上高排出量	2020年度 a 115.6 t/100	2020年度比 100 % 以下 c 116 t/100	2020年度比 100 % 以下 116 t/100
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2020年度 1,515 kg	2020年度比 150 % 以下 2,273 kg	2020年度比 120 % 以下 4,000 kg
		一般廃棄物	2020年度 1,465 kg	2020年度比 150 % 以下 2,198 kg	2020年度比 120 % 以下 1,758 kg
6	紙使用量削減	使用量	2020年度 87,081 枚	( 391,865 枚)	( 181,128 枚)
		売上高使用量	2020年度 87,081 枚/100	2020年度比 150 % 以下 130,622 枚/100	2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	
8	+O <sub>2</sub> マングローブ植林プロジェクト				

・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 5. 環境経営計画

### (1) 環境負荷削減活動計画

項目		2024年度目標	2024年度活動計画
1	売上高	2020年度比 160%以上	新規開拓30社 20M¥を目標とする
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 3件以下	毎月の会議で是正処置内容を再確認し周知徹底する
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 5件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	DXで加工センターの過去の是正処置内容を図面に添付し、視える化を実施
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 ( 185 t )	削減目標は売り上げ原単位で同レベル(100%)とする。
		2020年度比 100%以下 116 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2020年度比 120%以下 4,000 kg	新規設備稼働により、廃油が多く出る予定 リサイクル分別の推進
		一般廃棄物 2020年度比 120%以下 1,758 kg	
6	紙使用量の削減	使用量 ( 181,128 枚 )	昨年購入数量63,000枚 ペーパーレスの推進
		2020年度比 130%以下 113,205 枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客からの要求があった場合 対応する
8	+O <sub>2</sub> マングローブ植林プロジェクト		

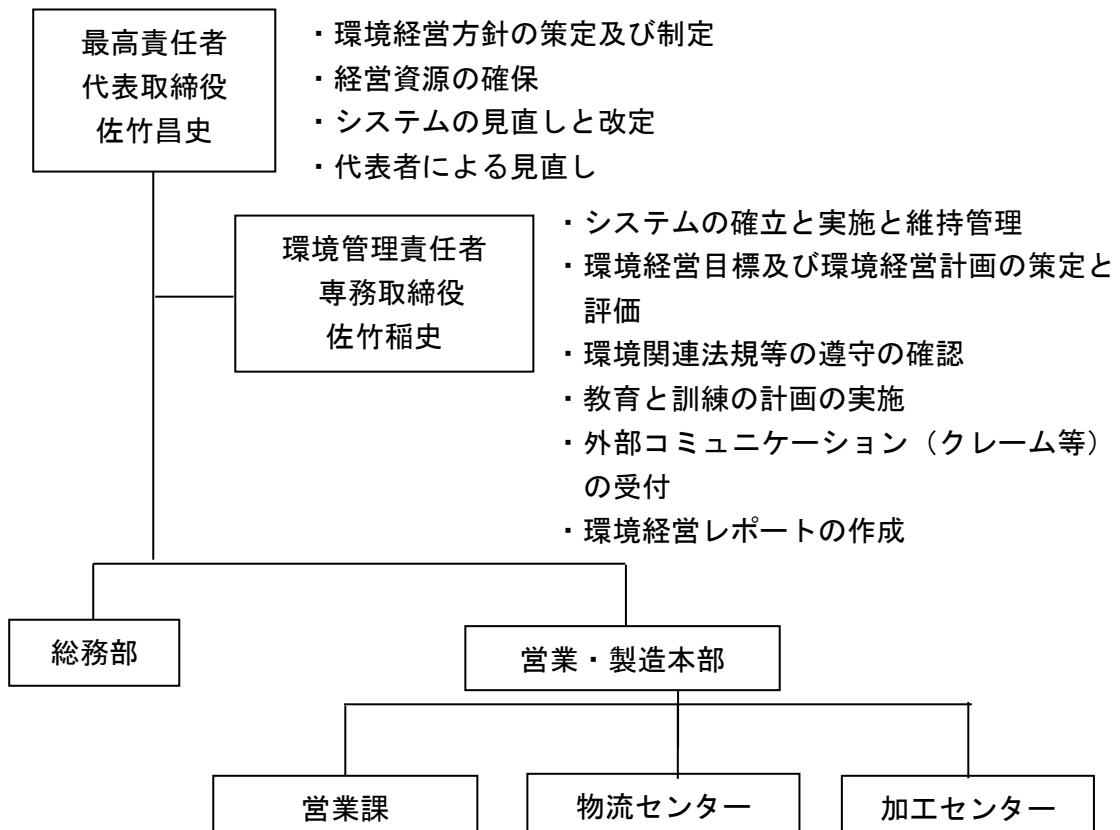
・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## (2) SDGs 活動計画

No.	項目	SDGsゴール	2024年度 活動計画
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	女性が活躍している場をSNSやYouTube動画を発信 立川市の男女共同参画課とタイアップし、女性雇用の促進
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善	太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討を継続する
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	技術習得のために、動画マニュアルの製作を進める 在庫管理に関して、DXを導入し、誰でも在庫の確認が出来る環境を作る
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	動画マニュアルソフトを購入し、それぞれの課で動画撮影及び編集する事で、現状の仕事内容を把握し改善に役立てる
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	引き続き、デマンドによる最大電力量の低減

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### ● Eco Action 組織図



## ● 環境経営取組内容

### (1) ・環境活動計画の取組結果とその評価

#### ・売上高について

50 期を迎え売り上げ 10 億を目標とし、スタートしたが、メインの半導体製造装置メーカー、医療機メーカーの内作の中止、中国への販売不振により前年度比横ばいの売り上げとなった。新規については、売り上げ目標は達成したが、担当課長が春に退職し、新規開拓がその後できない状況となった。今期は、前期の秋口より半導体製造装置メーカーが立ち上がり、20%売り上げ増を目標とした。

#### ・顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

目標設定は、3 件以下とし、実績は 0 件となった。物流センターの人員が刷新したので、実力不足から、不良を出す可能性が高い事から、注意深く見ていく必要がある。

#### ・社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

2024 年度の目標を、2023 年度実績の物流センター 5 件 加工センターは 10 件に対し、目標は物流センター 5 件以下 加工センター 10 件以下 外注 2 件以下で設定し、物流センター、加工センターは大幅にクリアした。今後、加工センター、物流センター両センターとも、人員の入れ替わりが多い為、今後の動向に注意する

#### ・紙使用量について

前年度実績とほぼ同数だった。

#### ・産業廃棄物排出量について

2020 年度対比 120% 4,000Kg を目標にし、実績 3,955 ほぼ達成となった。計算式と産業廃棄物運搬業者の記載に違いが出ているようなので、再度確認が必要となる。来期については、今まで、廃棄していないラップ室の廃油や、加工センターからの廃油が大幅に増える予定。

#### ・二酸化炭素排出量について

2024 年度の目標は、売り上げ原単位で 2020 年度基準年に対して 160% と設定した。加工センターの横型マシニングセンターの稼働が大幅に上がると予想したが、売り上げが前年度対比 110% だった為ほぼ昨年同等であった。来期に向け、売り上げの大幅に up の予算を組んでいる為、二酸化排出量も前年度の予算並みで行く。

## 7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

### (1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

項目		2024年度目標	2024年度 実績と評価	
			実績	評価
1	売上高	2020年度比 160%以上	110%	担当者退職の為、前半の実績のスライドとなった
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	発生件数 3件以下	0件	ユーザークレームは0件
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	不具合発生 物流センター 5件以下 加工センター 10件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	物流C 1件 加工C 5件 調達 0件 外注 0件	不具合発生については、予算クリアした。加工センターに関しては、ヒューマンエラーを無くすようにする事
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量 ( 185 t)	101.2 % 117.0 t	売上は昨年ほぼ同じの為、数値に変化がほとんど見られなかった
		2020年度比 100 % 以下 116 t/100	92.0 % 106.4 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物 2020年度比 120 % 以下 4,000 kg	261.1 % 3,955 kg	今期は、目標通りではあったが、来期については、加工センターの廃油がかなり増えるので、それも見越した設定をする
		一般廃棄物 2020年度比 120 % 以下 1,758 kg	59.0 % 865 kg	
6	紙使用量削減	使用量 ( 181,128 枚)	70.9 % 61,750 枚	売上も前年度対比ほぼ横ばい 目標数をクリア
		2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100	64.5 % 56,136 枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	特に依頼無し	
8	+O <sub>2</sub> マングローブ植林プロジェクト			

・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。



## (2) SDGsの取組実績

No.	項目	SDGsゴール	2024年度 活動計画	2024年度実績
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場環境の整備 女性雇用の促進	女性が活躍している場をSNSやYouTube動画を発信 立川市の男女共同参画課とタイアップし、女性雇用の促進	Facebook上にボーリング大会やBBQの様子を上げた 中々、女性雇用がうまくいかなかった
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー効率の改善	太陽光発電の設置に関して助成金の助成率を確認しながら、設置の検討を継続する	現在も引き続き検討中
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の拡充 働きがいのある人間らしい仕事の推進	技術習得のために、動画マニュアルの製作を進める 在庫管理に関して、DXを導入し、誰でも在庫の確認ができる環境を作る	パソコンでの作業に関して、力量に差があるので向上をさせる 2025年度に立ち上げる為、毎月会議を実施した
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、廃棄物の削減	動画マニュアルソフトを購入し、それぞれの課で動画撮影及び編集する事で、現状の仕事内容を把握し改善に役立てる	動画マニュアルの製作に時間が掛かり、現在作成途中
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減による二酸化炭素排出量の削減	引き続き、デマンドによる最大電力量の低減	引き続き、デマンドによる監視を実施

(3) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目		基準年度実績	2026年度中期目標	2025年度目標	2025年度活動計画
1	売上高	2020年度 100 % <sup>e</sup>	2020年度比 300 %以上	2020年度比 160 %以上	新規開拓30社 20M¥を目標とする
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2020年度発生件数 5件		発生件数 3件以下	毎月の会議で是正処置内容を再確認し周知徹底する
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2020年度不具合発生 物流センター 5件 加工センター 21件 調達課 0件 外注 0件		不具合発生 物流センター 10件以下 加工センター 15件以下 調達課 0件以下 外注 2件以下	DXで加工センターの過去の是正処置内容を図面に添付し、視える化を実施
4	二酸化炭素排出量の削減	2020年度 排出量 d 115.6 t	f ( 347 t)	( 185 t)	削減目標は売り上げ原単位で同レベル(100%)とする。
	売上高排出量	2020年度 a 115.6 t/100	c 116 t/100	2020年度比 100 % 以下 2020年度比 100 % 以下 116 t/100	
5	廃棄物排出量の削減	2020年度 産業廃棄物 1,515 kg	2020年度比 200 % 以下 3,030 kg	2020年度比 200 % 以下 6,700 kg	新規設備稼働により、廃油が多く出る予定 リサイクル分別の推進
	一般廃棄物	2020年度 1,465 kg	2020年度比 150 % 以下 2,198 kg	2020年度比 120 % 以下 1,758 kg	
6	紙使用量削減	2020年度 使用量 87,081 枚	( 391,865 枚)	( 181,128 枚)	昨年購入数量63,000枚 ペーパーレスの推進
	売上高使用量	2020年度 87,081 枚/100	2020年度比 150 % 以下 130,622 枚/100	2020年度比 130 % 以下 113,205 枚/100	
7	製品の環境性能向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客要求に 100 %対応	顧客からの要求があった場合 対応する
8	+O <sub>2</sub> マングローブ植林プロジェクト				

・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2020年東京電力の調整後排出係数0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、

### 訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2022年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度の目的目標達成状況については、1月に確認した。2025年度の電力、ガソリン、軽油、紙の使用量については、工作機械の稼働率上昇を数値目標の設定をする事。産業廃棄物に関しては、今まで加工センターで実施していないフラッシングをし、タンク等の洗浄をし、臭気の除去、切削油の清浄度UPの為、廃油の大幅増加があるので、それも目標値に入れて目標を立てる事。

加工センターに人員の増員、工作機械の増設を踏まえ、電力使用量のUPを考え、また、環境の変化を予想しながら、数値目標を立てる事。

SDGzの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているので、周知徹底及び、全員で目標達成の事。(2025.1月20日)

- ・次期環境経営レポートは、2026年3月発行予定。